

コード	402060601
記入日	H21.6.1

事務事業途中評価表

課コード	115
課名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	本田雄喜治

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	林道桂山線舗装事業
----------	-----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40206	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	3
事務事業コード	4020606	事務事業名称	国庫補助事業費(林道舗装)	細目コード	915
関連計画	法令・条例規則等 森林法 ・長崎県林道事業補助金交付要綱				

計画 (PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1)	森林所有者	(対象指標1)	156名			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
舗装延長 L=5,811m 舗装幅員 W=4.0m	舗装延長 L=1,715m 舗装幅員 W=4.0m	舗装延長	4,302m	74%	舗装延長÷計画舗装延長	平成23年度
		舗装延長	1,715m	191%		平成20年度
		①	(達成率分析) 計画以上に進捗している。			
		②	(達成率分析)			
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
本路線は、平成12年度に全線開通し森林施業等に利用されてきた。しかし、降雨による路面侵食、土砂の流出によって側溝が埋塞し維持管理に多大な労力、経費を要している。また、側溝埋塞による林道本体への被害も発生している。よって、舗装事業を実施し維持管理に係る労力、経費の軽減及び災害防止を図るものである。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		舗装率	60%	74%	舗装率÷計画した舗装率	平成23年度
		①	舗装率	74%		123.3%
		②	(達成率分析) 計画以上に進捗している			
		③	(達成率分析)			

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	m	5,811	4,302	2,587	900	1,715	900	900	524	
	②										
成果指標	①	%	100	74.0	44.5	60.0	74.0	75.5	91.0	100	
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	229,853	153,493	98,443	35,700	55,050	35,700	35,700	24,310		
直接事業費 A	千円	190,653	128,993	78,843	30,800	50,150	30,800	30,800	19,410		
人件費 B	千円	39,200	24,500	19,600	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900		
内訳	従事職員数	人	5.6	3.5	2.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	85,440	56,715	32,640	14,400	24,075	14,400	14,400	9,600	
	県補助金	千円	17,568	11,823	7,008	2,880	4,815	2,880	2,880	1,920	
	起債	千円	68,500	47,800	28,600	10,900	19,200	10,900	10,900	7,200	
	その他	千円									
一般財源	千円	58,345	37,155	30,195	7,520	6,960	7,520	7,520	5,590		

コード 402060601

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	林道管理者である町が行うべきである
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	林道の維持管理及び林業施業の効率化を図るためには必要である
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	森林所有者とすることで適切である
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	舗装済区間では路面補修が不要になった
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	計画以上に事業が進捗しているため向上させる余地はない
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	未舗装区間では、路面が荒れており車両通行に支障をきたしている
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているためできない
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	最小の人員で事業を進捗しているためできない
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	林道管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない
		有効性	事業実施済み区間では、維持管理軽減の効果が得られている
		効率性	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているため、経費を削減することはできない
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	1次評価のとおり
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。